

第3次葛飾区環境基本計画

みんなでつくる 人や自然にやさしく持続可能なまち かつしか

～令和3年度進捗状況の報告について～

令和5年3月

葛 飾 区

第3次葛飾区環境基本計画の位置付けについて

本計画は、区の環境に対する考え方を明らかにするとともに、葛飾区基本構想に示された将来像「みんなでつくる、水と緑と人情が輝く 暮らしやすいまち・葛飾」を環境面から補完する位置付けにあります。環境に係る施策を中長期的な展望に立って、総合的・計画的に推進するための計画であり、各個別計画の策定や施策の実施に当たっての環境配慮の方向性を示すものです。

また、地球温暖化対策推進法に基づく「葛飾区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」、気候変動適応法に基づく「葛飾区気候変動適応計画」及び生物多様性基本法に基づく生物多様性地域戦略である「生物多様性かつしか戦略」を包含する計画とします。

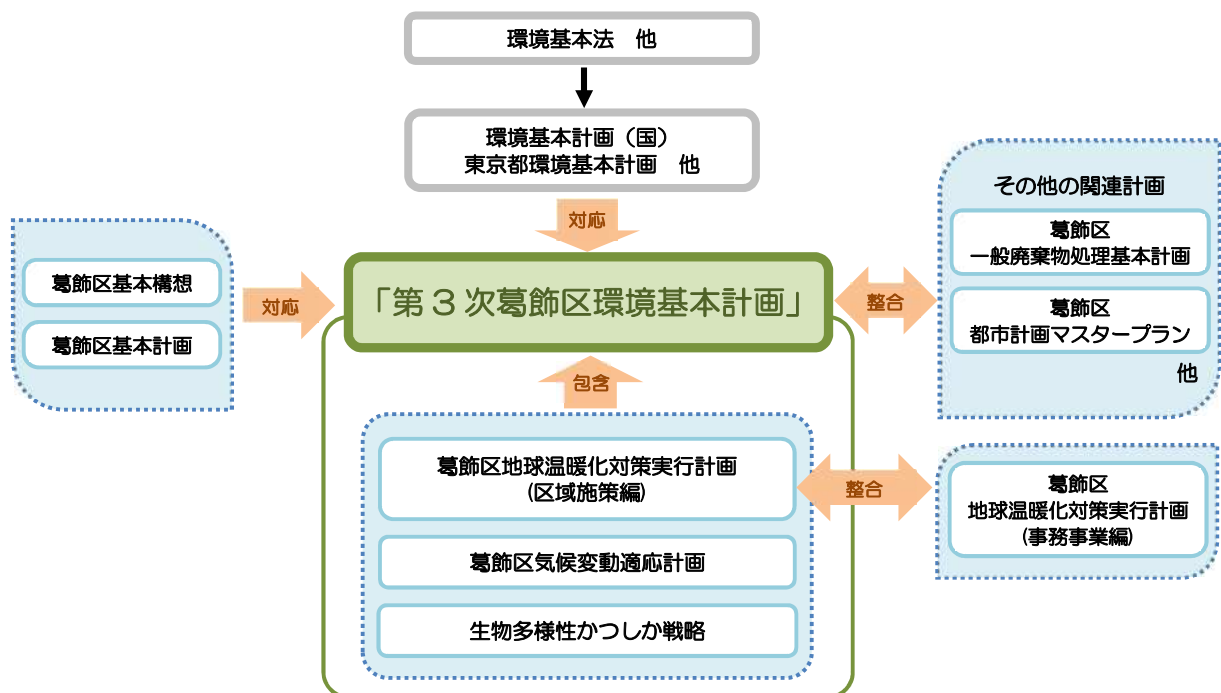


図1 本計画の位置付け

第3次葛飾区環境基本計画の目標について

本計画は、基本理念に基づいて将来的な区の在り方を示す望ましい将来像である「みんなでつくる 人や自然にやさしく持続可能なまち かつしか」を実現する目標として、5つの基本目標を設定しました。5つの目標は、相互に関わり合い、切り離すことができないものであり、いずれかの目標のみを優先させることなく、全ての目標の達成に向けて取り組むことが重要です。

全ての基本目標における施策や事業に対して真摯に取り組み、時には連携し同時解決を図ることで望ましい将来像の達成を目指します。

基本理念

私たちは、大気や水、ごみ、生きものなどの暮らしに身近な環境問題から、地球温暖化といった世界的な環境課題、大型台風の上陸や猛暑などの気候変動やウイルスによる感染症拡大といった、これまで経験したことのない新たな環境問題にも、オールかつしかで力を合わせて乗り越える必要があります。

私たちが将来にわたって安心して幸せな生活を送り、事業活動のさらなる充実を図っていくためには、社会経済活動やライフスタイル・ビジネススタイルを振り返りながら、区民・事業者・区の連携・協働によって、経済・社会・環境の3側面での統合的向上を図り、次世代へ継承する自然環境の恵み豊かな持続可能なまちをつくります。

望ましい将来像

「みんなでつくる 人や自然にやさしく持続可能なまち かつしか」

5つの基本目標

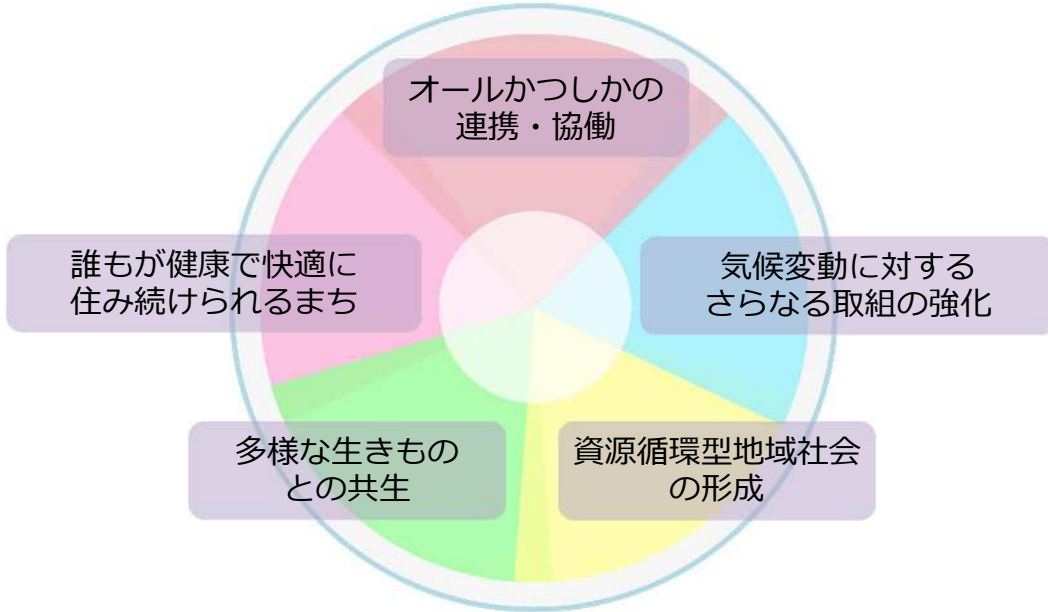
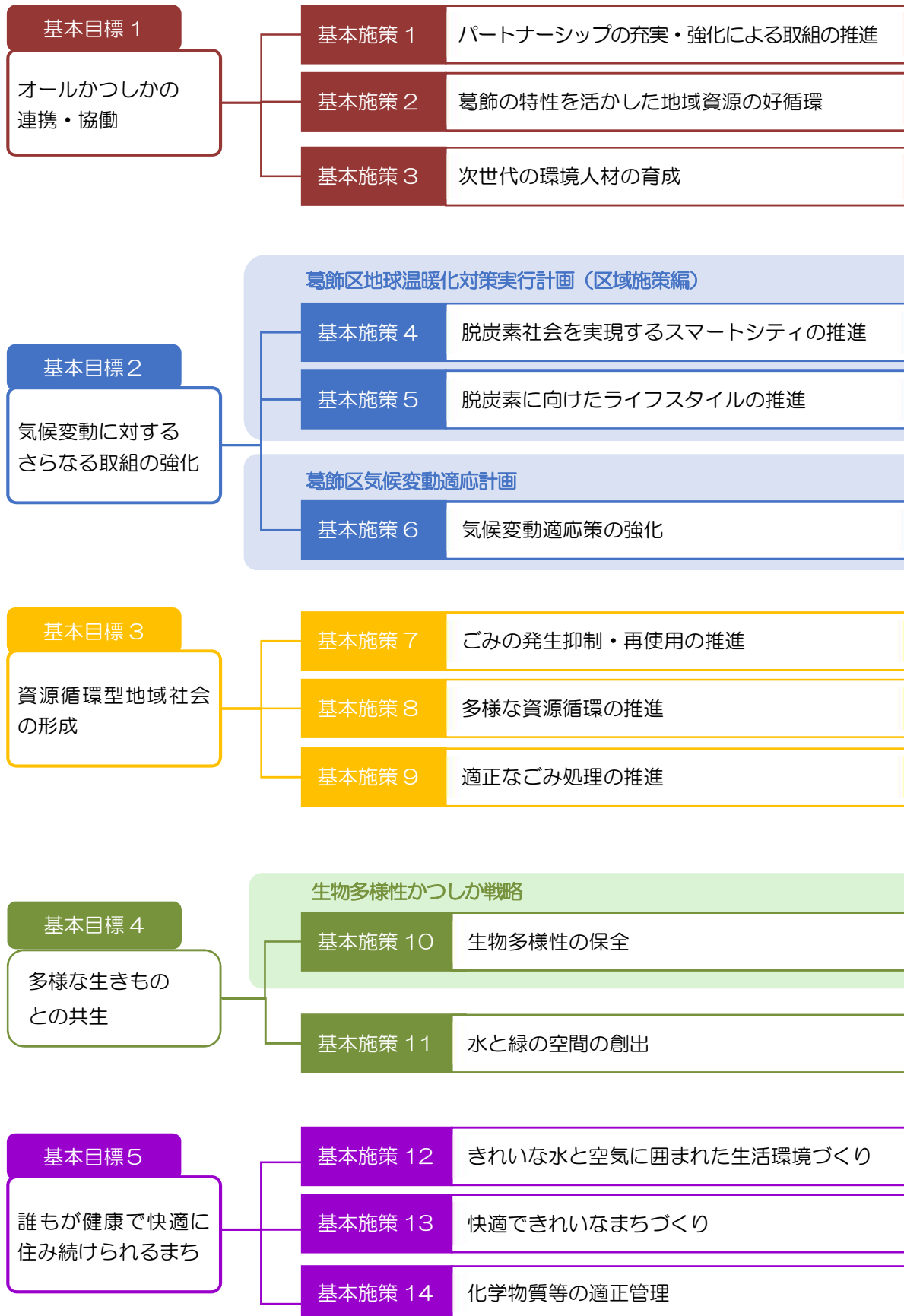


図2 基本理念・望ましい将来像・基本目標のイメージ

第3次葛飾区環境基本計画の体系について



第3次葛飾区環境基本計画の進行管理について

本計画を実効性のあるものとするためには、施策の実施状況、関連する成果指標の推移などの点検を行い、その結果に基づき、改善をしていく PDCA のサイクルが必要です。

そこで、本計画の進捗管理に当たっては、気候変動、自然環境、都市緑化、資源循環に関連する学識経験者や環境に関する協議会をはじめとした区民団体、公募区民、区内の学生などで構成する環境審議会において、計画の進捗管理や見直しに関する事項、環境の保全に関する施策に関する事項等について審議し、次年度以降の取組につなげていきます。

今後も、継続的に PDCA サイクルを実施する中で、施策の進捗状況、国や都の計画策定等の動向、社会情勢の大きな変化等を踏まえ、適宜、目標及び施策の強化などの見直しを検討していきます。

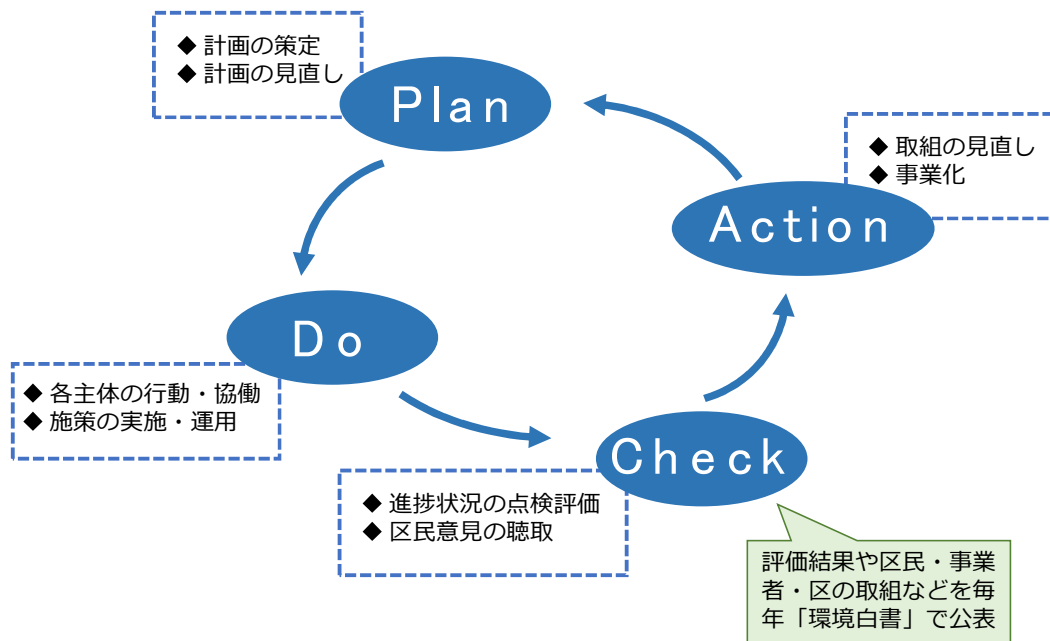


図3 PDCA サイクルのイメージ

目 次

| | | |
|---------|------------------------|----|
| 基本目標 1 | オールかつしかの連携・協働 | 1 |
| 基本施策 1 | パートナーシップの充実・強化による取組の推進 | |
| 基本施策 2 | 葛飾の特性を活かした地域資源の好循環 | |
| 基本施策 3 | 次世代の環境人材の育成 | |
| 基本目標 2 | 気候変動に対するさらなる取組の強化 | 6 |
| 基本施策 4 | 脱炭素社会を実現するスマートシティの推進 | |
| 基本施策 5 | 脱炭素に向けたライフスタイルの推進 | |
| 基本施策 6 | 気候変動適応策の強化 | |
| 基本目標 3 | 資源循環型地域社会の形成 | 11 |
| 基本施策 7 | ごみの発生抑制・再使用の推進 | |
| 基本施策 8 | 多様な資源循環の推進 | |
| 基本施策 9 | 適正なごみ処理の推進 | |
| 基本目標 4 | 多様な生きものとの共生 | 14 |
| 基本施策 10 | 生物多様性の保全 | |
| 基本施策 11 | 水と緑の空間の創出 | |
| 基本目標 5 | 誰もが健康で快適に住み続けられるまち | 18 |
| 基本施策 12 | きれいな水と空気に囲まれた生活環境づくり | |
| 基本施策 13 | 快適できれいなまちづくり | |
| 基本施策 14 | 化学物質等の適正管理 | |

基本目標 1

オールかつしかの連携・協働

基本施策1 パートナーシップの充実・強化による取組の推進

基本施策2 葛飾の特性を活かした地域資源の好循環

基本施策3 次世代の環境人材の育成

令和3年度の主な取組結果

◆ ゼロエミッションかつしかの達成に向けた取組

(1) 「ゼロエミッションかつしか」を実現する7つの柱

「ゼロエミッションかつしか」を実現するための分野を次の7つの柱として体系化し、幅広い分野で横断的な取組を行っています。

| 7つの柱 | 主要な取組 | 対応施策 |
|-----------------------------|-----------------------------|----------|
| I. エネルギー | 再生可能エネルギーの導入拡大、水素エネルギーの普及拡大 | 基本施策4 |
| II. 建物 | ZEB・ZEHの拡大 | 基本施策4 |
| III. 運輸 | 公共交通の充実、自転車活用の推進、次世代自動車の推進 | 基本施策4 |
| IV. 資源 | 3Rの推進、食品ロス対策、プラスチック対策 | 基本施策7・8 |
| V. 気候変動 | 適応策の強化 | 基本施策6 |
| VI. 吸収量拡大 | 地域間連携に基づく森林整備 | 基本施策2・11 |
| VII. 新たなビジネス・ ライフスタイル・協働 | 脱炭素ビジネス、脱炭素経営 | 基本施策2・5 |
| | 脱炭素に向けたライフスタイルの推進 | 基本施策5 |
| | 葛飾区役所における率先行動 | 基本施策5 |

※ 令和3年度に実施した主要な取組の一部を抜粋し、各基本施策に記載しています。

◆ 協働による花いっぱいのもちづくりの推進

(1) 東京 2020 大会参画プログラム「花いっぱいでおもてなし」の実施

かつしか花いっぱいのもちづくり推進協議会及び葛飾区緑化推進協力委員会との共催で実施しました。

【実施内容】

- ・区内の各花壇において、「花いっぱいでおもてなし」活動を推進しました。
- ・臨海副都心部の東京 2020 大会競技会場や聖火台周辺の花による修景に、フラワーメリーゴーランドやフラワーキャンバスを設置するとともに、植栽の維持管理に協力しました。
- ・東京 2020 大会期間中に東京スカイツリータウンで開催された内閣府・JAMSTEC 主催の「Society5.0 科学博」にフラワーメリーゴーランドを出展しました。

(2) 花いっぱいのもちづくりの担い手の拡大

花いっぱいのもちづくりの担い手の裾野を広げるため、個人や家庭への支援策を検討しました。

【参考】

令和4年度から「団体」による花いっぱいのもちづくりに加え、「個人」が花を親しむきっかけ作りを行い、区民一人一人に花いっぱいの意識を広め、より身近に花を感じられる空間の創出を目指す「まちかどマイガーデン」事業を開始しました。

◆ サステナブル・リカバリーによる区内産業の活性化

(1) 葛飾区 SDGs 宣言事業

区内の SDGs 活動を促進するため、SDGs 達成に向け目標を決め宣言した事業者等に「SDGs 宣言証」を発行し、取組内容を区ホームページ等で公表しました。

【実績】

宣言数 累計 64 件（令和5年1月25日現在）

◆ 地域外との連携による取組

(1) 葛飾区と五泉市との児童交流事業

小学生などが五泉市を訪問し、五泉市の自然を体験することにより、都市型の葛飾の自然と対比し自然や生物多様性の素晴らしさや大切さを学んでもらうことを目的に実施しています。

【実施内容】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえ、事業内容を見直し、新聞、ビデオレター、リモートによる選択制で実施しました。

【参考】

令和4年度は、令和5年2月に1泊2日の日程で訪問しました。

(2) 森林整備の推進

森林整備を推進するため、包括連携協定を締結している締結先と連携可能性について検討しました。

【参考】

令和4年度に以下の包括連携協定先と森林整備に係る協定を締結しました。

- ・新潟五泉市 (令和5年2月13日協定締結)
- ・秋田県鹿角市 (令和5年2月21日協定締結)

◆ 環境学習の推進

(1) 環境学習の実施

環境行動の普及・啓発を行うため、家庭や学校などに対し、環境学習の教室や講座を実施しました。

【主な環境学習事業】

再生可能エネルギーの環境学習教室、親子自然観察会、区民エコライフ学習講座、親子体験「LED電球でランプシェード作り」、夏休みリサイクル教室、出前講座、鳴く虫の女王「カンタン」と秋に鳴く虫を聴く会、かつしかっ子探検隊、3R推進パートナー養成講座など

◆ イベントの推進による普及啓発

(1) かつしか環境・緑化フェアの開催

地球温暖化対策や自然環境、生活環境やごみの減量などについて、現状と区の実践を紹介し、区民の環境保全や地球温暖化防止に関する意識の高揚を図り、一人一人が環境に配慮した行動を実践する契機とするため開催しています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止としましたが、令和4年度は3年ぶりに開催しました。

【実績】

| 入場者数(人) | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|------------|--------|-------|-------|-------|-------|
| テクノプラザかつしか | 3,500 | 4,700 | 中止 | 中止 | 3,600 |

(2) ごみ減量・清掃フェアかつしかの開催

区民のごみ減量・リサイクルの意識啓発と具体的行動への促進及び清掃事業全般への理解を図るとともに、地域住民の葛飾清掃工場への理解と協力を求めることを目的に、区と東京二十三区清掃一部事務組合葛飾清掃工場との共催事業として開催しています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止としましたが、令和4年度は3年ぶりに開催しました。

【実績】

| 入場者数(人) | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|---------|--------|-------|-------|-------|-------|
| 葛飾清掃工場 | 5,700 | 4,700 | 中止 | 中止 | 3,400 |

施策の目標

基本施策1 パートナーシップの充実・強化による取組の推進

| 指標 | 目標設定時の値 | 現状値 | 目標値 |
|--|----------------------------------|-------------------|--|
| 省エネを心がけている区民の割合(%) ^{※1} | 83.2% (令和2年度) | 83.3% (令和3年度) | 95.2% (令和13年度) |
| 二酸化炭素吸収量(t-CO ₂ /年) ^{※2} | 842 t-CO ₂ (令和元年度) | — | 1,263 t-CO ₂ 50%増加 (令和13年度) |
| 花いっぱい活動に取り組む活動箇所数(箇所) | 150 箇所 (令和2年度) | 153 箇所 (令和3年度) | 216 箇所 (令和13年度) |

※1 「葛飾区政策・施策マーケティング調査」調査報告書

※2 「葛飾区緑被率・みどり率調査」調査報告書(10年に1度実施)の数値を基に区独自で推計

基本施策2 葛飾の特性を活かした地域資源の好循環

| 指標 | 目標設定時の値 | 現状値 | 目標値 |
|---|------------------|-----|------------------|
| 「SDGs(持続可能な開発目標)」を知っている区民の割合(%) ^{※3} | 39.4% (令和2年度) | — | 100% (令和13年度) |

※3 葛飾区世論調査(3年に1度実施)

基本施策3 次世代の環境人材の育成

| 指標 | 目標設定時の値 | 現状値 | 目標値 |
|-------------|--------------------|--------------------|----------------------|
| イベント来場者数(人) | 9,400 人 (令和元年度) | 7,000 人 (令和4年度) | 11,500 人 (令和13年度) |

※ イベント内訳：かつしか環境・緑化フェア、ごみ減量・清掃フェアかつしか

【評価（課題及び今後の方向性）】

- 東京 2020 大会に向け臨海副都心部での区民ボランティアによる「花いっぱいでおもてなし」事業は緊急事態宣言発出により中止となりましたが区職員により植栽管理を行い、花を良好な状態で維持することができました。
- 区民ボランティアによる地域での花壇活動は新型コロナウイルス感染防止対策を行ったうえ、日常の活動範囲内で継続することができました。
- 花いっぱいのまちづくり活動により活動箇所が3増えたことは評価の目安となりますが、これは区民が自発的に活動を開始するため区の支援策を活用した結果です。その活動の目的は、自治会活動や観光振興などでした。
- 五泉市との児童交流事業については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、宿泊訪問は中止としたものの、ビデオレター、リモート、鮭の飼育新聞の交流事業を実施し、途切れなく継続することができました。今後は、交流事業に加え、森林整備事業などで地域間連携を深めていきます。
- 環境学習やイベントについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止とした事業もありましたが、感染症対策を講じた上で、おおむね実施することができました。今後も、環境行動の普及・啓発に取り組んでいきます。

基本施策 4 脱炭素社会を実現するスマートシティの推進

基本施策 5 脱炭素に向けたライフスタイルの推進

基本施策 6 気候変動適応策の強化

令和 3 年度の主な取組結果

◆ 再生可能エネルギーへの利用転換の拡大

(1) 太陽光発電システム及び蓄電池の設置助成

再生可能エネルギーの利用拡大を図るため、設置する個人住宅、集合住宅、事業所に対し、設置費用の一部を助成しています。

[助成件数]

| 太陽光発電システム | | | | 蓄電池 | | | |
|-----------|-------|-------|--------------|------|-------|-------|-------------|
| | 単位：件 | | | | 単位：件 | | |
| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
| 個人住宅 | 134 | 123 | 180 | 個人住宅 | 267 | 209 | 215 |
| 集合住宅 | 1 | 0 | 0 | 集合住宅 | 0 | 0 | 0 |
| 事業所 | 2 | 7 | 4 | 事業所 | 1 | 3 | 3 |
| 合計 | 137 | 130 | 184 (+54) | 合計 | 268 | 212 | 218 (+6) |

(2) 区施設への太陽光発電システム及び蓄電池の導入

令和4年3月に「にこわ新小岩」に太陽光発電システム及び蓄電池を設置しました。

【設置容量】

- 太陽光発電容量：10.5 Kw
- 蓄電池容量：5.6 Kwh

(3) 区施設における再生可能エネルギー電力（RE100）への切替え

区施設で使用する電力の一部を二酸化炭素を排出しない再生可能エネルギー電力（RE100）へ切り替えるため、対象施設の選定及び切替え手続きを行いました。

【再生可能エネルギー電力導入施設 ※令和4年4月～】

- 葛飾区役所本庁舎
- 指定管理者が管理するスポーツ施設
(葛飾区奥戸総合スポーツセンター、葛飾区水元総合スポーツセンター、葛飾区東金町運動場、葛飾区小菅西公園フットサル場、葛飾区上千葉公園運動場、葛飾区葛飾にいじゅくみらい公園運動場、葛飾区金町公園プール)

◆ 住宅など建築物のエネルギーの高効率化、家庭・事業所における省エネ機器等の導入促進

(1) 遮熱塗装等断熱改修などに対する助成

エネルギーの高効率化及び省エネ機器の導入促進を図るため、個人住宅、集合住宅、事業所に対し、導入費用の一部を助成しています。

[助成件数]

| 遮熱塗装等断熱改修 | | 単位：件 | |
|-----------|------------|------------|----------------------|
| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
| 個人住宅 | 390 | 357 | 491 |
| 集合住宅 | 16 | 17 | 20 |
| 事業所 | 6 | 6 | 15 |
| 合計 | 412 | 380 | 526 (+146) |

| LED 照明機器 | | 単位：件 | |
|-----------|-----------|-----------|---------------------|
| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
| 個人住宅 | 17 | 25 | 35 |
| 集合住宅 | 26 | 24 | 33 |
| 事業所 | 36 | 40 | 48 |
| 合計 | 79 | 89 | 116 (+27) |

| HEMS | | 単位：件 | |
|------|-------|-------|--------------|
| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
| 個人住宅 | - | 69 | 125 (+56) |

| 空調機器改修 | | 単位：件 | |
|--------|-------|-------|-------------|
| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
| 事業所 | 22 | 17 | 39 (+22) |

| ゼロエネルギーハウス (ZEH) | | 単位：件 | |
|------------------|-------|-------|-----------|
| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
| 個人住宅 | 4 | 2 | 3 (+1) |

| 省エネ設備 | | 単位：件 | |
|-------|-------|-------|-----------|
| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
| 事業所 | 6 | 2 | 3 (+1) |

| エネファーム | | 単位：件 | |
|-----------|------------|-----------|--------------------|
| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
| 個人住宅 | 127 | 99 | 66 |
| 事業所 | 1 | 0 | 0 |
| 合計 | 128 | 99 | 66 (▲33) |

※ 令和4年度から都独自に設定した ZEH よりも優れた省エネ性能をもつ住宅「東京ゼロエミ住宅」の建築主に対し、助成を実施する項目を新たに設け、建築物のエネルギー高効率化を促進しています。

(2) 区施設の ZEB 化

ZEB Ready の認証取得に向け、令和6年度開設予定の新清掃施設・新清掃事務所棟において、設計・工事を実施しました。

※ 令和4年12月に ZEB Ready の認証を取得（葛飾区の区有施設では初）。

◆ 次世代自動車（ZEV）の普及促進

（１）次世代自動車等に対する助成

次世代自動車の普及を促進するため、電気自動車や燃料電池自動車など環境に優しい自動車を導入する際の費用の一部を助成しています。

[助成件数]

家庭用燃料電池

単位：件

| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------|-------|-------|-------------|
| 個人住宅 | 50 | 10 | 10 |
| 事業所 | 4 | 3 | 8 |
| 合計 | 70 | 13 | 38 (+25) |

◆ 暑さに対する適応

（１）緑のカーテン事業

夏の暑さを和らげる効果のある「緑のカーテン」の普及啓発を図るため、小・中学校や保育園にゴーヤの苗を配付し、緑のカーテンによる暑さ対策を実施しました。

例年、区民向けに講習会も実施していますが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、中止としました。

【ゴーヤの苗の配付実績】

小学校：27校、中学校：7校、保育園：34園、その他の区施設：17施設

施策の目標

基本施策4 脱炭素社会を実現するスマートシティの推進

| 指標 | 目標設定時の値 | 現状値 | 目標値 |
|--|---|--|--|
| 区内の温室効果ガス排出量(千t-CO ₂) (2013年度からの削減率) | 1,463千t-CO ₂ 12.1% (H30年度) | 1,415千t-CO ₂ 15.0% (R元年度) | 832千t-CO ₂ 50% (令和12年度) |
| 区内の再生可能エネルギー導入量(KW) | 26,364KW (R2年度) | 27,386KW (R3年度) | 41,475KW (令和12年度) |
| 区内のエネルギー消費量(TJ) (2013年度からの削減率) | 15,240TJ 11% (H30年度) | 14,971TJ 12.6% (R元年度) | 11,993TJ以下 30%以上 (令和12年度) |

※区内乗用車のZEVの割合の指標は、算定で使用する値の一部が未公表のため記載を省略。

基本施策5 脱炭素に向けたライフスタイルの推進

| 指標 | 目標設定時の値 | 現状値 | 目標値 |
|--|---|---|---|
| 家庭部門の温室効果ガス排出量(千t-CO ₂) (2013年度からの削減率) | 554千t-CO ₂ 14.3% (H30年度) | 538千t-CO ₂ 16.58% (R元年度) | 323千t-CO ₂ 以下 50%以上 (令和12年度) |
| 業務部門の温室効果ガス排出量(千t-CO ₂) (2013年度からの削減率) | 325千t-CO ₂ 13.3% (H30年度) | 307千t-CO ₂ 18.2% (R元年度) | 187千t-CO ₂ 50%以上 (令和12年度) |
| 区の事務事業による温室効果ガス排出量(千t-CO ₂) (2013年度からの削減率) | 23,403千t-CO ₂ 26.3% (R2年度) | 23,857千t-CO ₂ 24.9% (R3年度) | 15,877千t-CO ₂ 51% (令和12年度) |

基本施策6 気候変動適応策の強化

| 指標 | 目標設定時の値 | 現状値 | 目標値 |
|------------------------|-----------------|-----------------|----------------------|
| 区内の熱中症搬送者数※1 | 223人 (R2年度) | 120人 (R3年度) | 200人以下を維持 (R13年度) |
| 気候変動適応策を知っている区民の割合※2 | 25.8% (R2年度) | 36.1% (R3年度) | 50% (R13年度) |
| 区の防災対策が進んでいると思う区民の割合※2 | 38.5% (R2年度) | 36.0% (R3年度) | 50% (R12年度) |

※1 救急活動の現況(東京都消防庁)

※2 「葛飾区政策・施策マーケティング調査」調査報告書

【評価（課題及び今後の方向性）】

- 太陽光発電システムや蓄電池の助成件数は、年々増加傾向にあり、本助成は再生可能エネルギーの利用拡大に寄与していると評価しています。引き続き助成金等を通して、区内の再エネ導入を推進していきます。
- 区有施設への太陽光発電システム及び蓄電池の設置については、令和3年度に設置した1施設のほか、令和4年度は3施設（西小菅小学校・高砂小学校・高砂中学校）に設置する予定で、今後も新築や改築にあわせて順次設置していきます。また、再生可能エネルギー100%電力への切替えについても順次進めていく方針ですが、調達価格の抑制と調達先の確保などに課題があります。
- エネルギーの高効率化に向けて、引き続き遮熱塗装等断熱改修等の助成金により、区内の省エネ化を後押ししていきます。区有施設については、費用面に課題がありますが、引き続きZEB Ready以上の認証を目指し、新築や改築、改修を進めていきます。
- 電気自動車の普及を図るためには、電気自動車用の充電設備を整備する必要があることから、令和4年度から新たに集合住宅及び事業所向けに電気自動車用の充電設備の助成金の項目を設けました。今後もZEVの更なる普及促進を図るため、助成項目の拡充を検討していきます。
- 暑さ対策などで実施している「緑のカーテン」事業については、3年ぶりに開催した環境緑化フェアで講座を行うなど今後も普及・啓発を図っていきます。
- 各施策の目標については、おおむね前年度と比較して、順調に推移しています。区の事務事業による温室効果ガス排出量については、前年度と比較して、増加していますが、これは主にコロナ禍による反動が主因であると考えられます。今度も中期目標である2030年のカーボンハーフの実現に向けて、気候変動対策を推進していきます。

基本施策7 ごみの発生抑制・再使用の推進

基本施策8 多様な資源循環の推進

基本施策9 適正なごみ処理の推進

令和3年度の主な取組結果

◆ 家庭から出るごみの発生抑制・再使用の推進

(1) 環境学習の実施

[実施件数] (単位: 回)

| 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-------|-------|-------|
| 98 | 39 | 78 |

(2) イベントにおける区民参加型普及啓発回数

[実施件数] (単位: 回)

| 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-------|-------|-------|
| 11 | 1 | 2 |

(3) 生ごみ処理機、コンポスト化容器の購入費助成

[実施件数] (単位: 件)

| 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-------|-------|-------|
| 56 | 265 | 136 |

(4) フードドライブの実施

[実施回数] (単位: 件)

| 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-------|-------|-------|
| 16 | 5 | 11 |

(5) 不用品交換情報の発信

[情報登録件数] (単位: 件)

| 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-------|-------|-------|
| 75 | 66 | 75 |

◆ 事業所から出るごみの発生抑制・再使用の推進

(1) かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会を通じた事業者への啓発

[啓発グッズ・啓発チラシ・容器包装削減ポスター配布数] (単位：件)

| 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|--------|--------|--------|
| 57,348 | 21,381 | 20,124 |

◆ 家庭から出る資源の循環、ごみの適正排出に向けた取組

(1) プラスチック容器包装の適正排出の啓発

[資源とごみの収集カレンダーの印刷作成部数] (単位：件)

| 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|---------|---------|---------|
| 254,440 | 261,000 | 268,470 |

(2) 不法投棄防止対策

[不法投棄防止看板の配布数] (単位：枚)

| 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-------|-------|-------|
| 18 | 18 | 16 |

(3) ボトル to ボトルの推進

- ・令和3年3月、一般社団法人全国清涼飲料連合会とボトル to ボトルを推進する協定を締結しました。
- ・令和3年8月、区内の公共施設、民間事業者に啓発ポスターを配布しました(245ヶ所)。
- ・令和3年8～9月、区役所1階階段横にリサイクルステーションを設置し、ペットボトル分別の実証実験を実施しました。

(4) 燃やさないごみの資源化の開始

- ・令和3年6月より、燃やさないごみの一部品目の資源化を開始しました。
- ・令和3年度は金属類、小型家電、スプレー缶、蛍光灯、小型充電式電池の資源化を行いました。

◆ 効率的・効果手的な清掃事業の推進

(1) 地域の実情に即した収集サービス

[高齢者世帯等への訪問収集世帯数] (単位：世帯)

| 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-------|-------|-------|
| 465 | 509 | 542 |

[まちの美観向上を目的とした個別収集] (単位：件)

| 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-------|-------|-------|
| 2,777 | 2,777 | 2,787 |

施策の目標

基本施策7 ごみの発生抑制・再使用の推進

| 指標 | 目標設定時の値 | 現状値 | 目標値 |
|---------------------|---------------------|--------------------|----------------------|
| 区民一人一日当たりの家庭ごみ量 (g) | 495 g (令和元年度) | 492 g (令和3年度) | 425 g (令和12年度) |
| 事業系ごみ年間総排出量 (t) | 23,856 t (令和元年度) | 22,286g (令和3年度) | 23,805 t (令和12年度) |

基本施策8 多様な資源循環の推進

| 指標 | 目標設定時の値 | 現状値 | 目標値 |
|-----------|-------------------|-------------------|------------------|
| 資源回収率 (%) | 22.1 % (令和元年度) | 23.4 % (令和3年度) | 27 % (令和12年度) |

【評価（課題及び今後の方向性など）】

- 家庭から出るごみの発生抑制・再使用の推進を行うためには、環境学習、啓発イベント等、区民を対象として実施する啓発の取組が重要ですが、コロナ禍により、イベント等の多くが中止となり、啓発の機会が大きく減少しました。令和4年度以降はコロナ禍が落ち着きつつあるため、引き続き啓発の取組を実施し、ごみの発生抑制・再使用を推進していきます。
- 「ごみ性状調査」によると、燃やすごみ、燃やさないごみの中には、依然として資源が混入している状況です。区は資源とごみの収集カレンダーなどを通じて、プラスチック容器包装をはじめとする資源の適正排出の周知に努めるとともに、一般社団法人全国清涼飲料連合会と協働してボトル to ボトルの推進を啓発し、今後とも適正排出の向上に向けて事業を実施していきます。一方、家庭から適正に排出されているごみの中にも、製品プラスチックをはじめとして、資源化可能な物が多数含まれています。今後は、これまで燃やすごみとしてきた製品プラスチックの資源化について具体的な検討を進めていきます。
- 各施策の目標について、区民一人一日当たりの家庭ごみ量は、コロナ禍における巣ごもり需要により令和2年度に一時的に増加するものの、令和3年度に燃やさないごみの資源化を開始したことや啓発の成果により、令和元年度に比べて減少しました。事業系ごみ年間総排出量は家庭ごみ量とは逆に、コロナ禍により令和2年度大幅に減少したものの、令和3年度は微増しました。資源回収率については、令和3年度に燃やさないごみの資源化を開始したことにより上昇しました。今後とも、令和12年度の目標達成に向けて、資源循環型社会の形成のための施策を実施していきます。

基本目標 4

多様な生きものとの共生

基本施策 10 生物多様性の保全

基本施策 11 水と緑の空間の創出

令和 3 年度の主な取組結果

◆ 貴重な自然環境の保全・再生

(1) 大場川中洲清掃作業の実施

毎年度中洲を上流部分から 3 分の 1 ずつに分け清掃作業を実施しています。令和元年度は下流部分、令和 2 年度は上流部分、令和 3 年度は中央部分を実施しました。

【廃棄物処分実績】

| 年度 | 令和元年度 | 令和 2 年度 | 令和 3 年度 |
|-------|----------|----------|----------|
| 一般廃棄物 | 2,150 kg | 3,910 kg | 2,340 kg |
| 産業廃棄物 | 195 kg | 200 kg | 40 kg |
| 合計 | 2,345 kg | 4,110 kg | 2,380 kg |

(2) 水元さくら堤除草作業の実施

毎年度 4, 5, 7, 9 月に除草作業を、12 月にフジバカマの切り戻し作業を実施しました。

◆ 在来種の保護

【箱ワナ設置件数・アライグマ、ハクビシン捕獲数・捕獲率】

| 年度 | 令和元年度 | 令和 2 年度 | 令和 3 年度 |
|---------|-------|---------|---------|
| 箱ワナ設置件数 | 92 件 | 103 件 | 95 件 |
| 捕獲数 | 21 頭 | 29 頭 | 34 頭 |
| 捕獲率 | 23% | 28% | 36% |

◆ 生物多様性に関する情報収集・普及開発

(1) 外来種に関する情報発信

本区の環境を保全するために対応が必要な外来種（アメリカオニアザミ等）について広報かつしかや区ホームページで注意喚起を実施しました。

◆ 自然環境を守り、育てる担い手の育成

(1) 環境学習用教材「エコかつ」の活用

「葛飾区環境学習用教材～エコかつ～」を作成し、全ての区立小・中学校に配付しました。

◆ 緑と花のまちづくりの推進

(1) 緑化指導

身近な緑を増やし、快適で良好な生活環境を実現するため、一定規模以上の敷地面積に建築などを行う区民及び事業者に、緑化計画の届出を義務づけ、新たな緑の創出を図りました。

【緑化指導実績】

| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----------------------|--------|--------|--------|
| 確認件数(件) | 116 | 110 | 100 |
| 確認面積(m ²) | 10,421 | 17,156 | 16,895 |

(2) 「フラワーメリーゴーランド」導入の推進

令和3年度に「フラワーメリーゴーランド」の導入調整を行い、以下の場所に設置されました。

【設置場所】※設置自体は、令和4年度

- ・神奈川県立相模相模原公園 4基(設置主体は公園指定管理者)
- ・有明聖火台周辺 4基(東京 2020 大会レガシー設置に合わせて区が都に寄贈)

(3) 東京 2020 大会参画プログラム「花いっぱいでおもてなし」の実施(再掲)

施策の目標

基本施策10 生物多様性の保全

| 指標 | 目標設定時の値 | 現状値 | 目標値 |
|----------------------------------|--------------------|-------------------|---------------------|
| 自然を大切にしている区民の割合(%) ^{※1} | 72.3 % (令和2年度) | 71.4 % (令和3年度) | 86.0 % (令和13年度) |
| 生き物調査において確認した自然環境の保全率(%) | 89 % (令和元年度) | 64 % (令和3年度) | 100 % (令和13年度) |
| 自然環境学習に参加する区民の数(人) | 1,109 人 (令和元年度) | 699 人 (令和3年度) | 1,230 人 (令和13年度) |

※1 「葛飾区政策・施策マーケティング調査」調査報告書

基本施策11 水と緑の空間の創出

| 指標 | 目標設定時の値 | 現状値 | 目標値 |
|---|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 緑被率(%) ^{※2} | 18.3 % (平成30年度) | — | 20.0 % (令和10年度) |
| 水辺が親しめる空間となっていると思う区民の割合(%) ^{※3} | 59.7 % (令和2年度) | 58.4 % (令和3年度) | 66.4 % (令和13年度) |
| 緑と花の豊かさを感じる区民の割合(%) ^{※3} | 65.5 % (令和2年度) | 65.5 % (令和3年度) | 70.3 % (令和13年度) |
| 区民一人当たりの公園面積(m ²) ^{※4} | 4.36 m ² (令和2年度) | 4.37 m ² (令和3年度) | 4.46m ² (令和12年度) |

※2 「葛飾区緑被率・みどり率調査」調査報告書(10年に1度実施)

※3 「葛飾区政策・施策マーケティング調査」調査報告書

※4 葛飾区基本計画に拠る(計画期間:令和3年度~令和12年度)

【評価（課題及び今後の方向性）】

- アライグマ（特定外来生物）、ハクビシン（外来生物法による指定なし）から在来種を守るため、区では個人宅を対象に捕獲用箱罠を設置しています。捕獲数、捕獲率は年々上がっていますので箱罠の設置が適切であったと考えられる一方で、区内に生息するアライグマ、ハクビシンが増えているとも考えられます。今後の推移を注視しながら、継続して箱罠を設置していくことが大事です。
- 環境教育の一環として、児童が総合的に学び、環境行動を実践できるよう「葛飾区環境学習用教材～エコかつ～」を作成し、区立小・中学校に配布しています。今後も授業の補助教材として活用するほか、自主学習ツールとしても活用いただき、環境教育を推進していきます。
- 条例に基づく令和3年度の緑化指導の確認は100件16,895㎡となりました。今後も適切な指導を行っていきます。
- 自然保護区である大場川中州及び水元さくら堤の保全を行っています。大場川中州の廃棄物については、ここ数年は横ばいで安定した数値となっていますが、今後の推移を注視しながら、引き続き適切な保全を行っていきます。

基本目標5

誰もが健康で快適に住み続けられるまち

基本施策12 きれいな水と空気に囲まれた生活環境づくり

基本施策13 快適できれいなまちづくり

基本施策14 化学物質等の適正管理

令和3年度の主な取組結果

◆ 河川、池、水路の水質向上対策の推進

(1) 河川水質調査の実施状況

区内の河川の水質を監視するため、水質調査を継続して実施しています。令和3年度は、全ての河川で環境基準を達成しました。

令和3年度調査結果

| 河川名 | 調査地点 | 環境基準達成状況 |
|-------|----------|----------|
| 江戸川 | 葛飾大橋 ■ | ○ |
| | 新葛飾橋 ▲ | ○ |
| 中川 | 飯塚橋 ▲ | ○ |
| | 高砂橋 ▲ | ○ |
| | 平和橋 ● | ○ |
| | 平井小橋 ● | ○ |
| 新中川 | 細田橋 ■ | ○ |
| 綾瀬川 | 綾瀬水門 ● | ○ |
| | 木根川橋 ■ | ○ |
| 荒川 | 堀切橋 ▲ | ○ |
| 大場川 | 葛三橋 ● | ○ |
| 水元小合溜 | 旧山王台公園 ■ | ○ |
| | 水元大橋 ■ | ○ |

注 ■は区、●は都、▲は国の調査によるもの

◆ 大気汚染などの防止の推進

(1) 大気汚染常時監視の実施状況

区内の大気環境について、汚染状況や経年変化を把握するため、4か所に測定局を設置し、常時監視を実施しています。令和3年度は、光化学オキシダントを除き、環境基準を達成しています。光化学スモッグの原因となる光化学オキシダントについては、東京都が主体となり、環境基準の達成を目標として原因物質の削減などに取り組んでいます。区においても、ホームページやリーフレットなどにより普及啓発を行っています。

令和3年度測定結果

| 測定局 | 測定項目 | 環境基準達成状況 |
|-----|-----------------------|----------|
| 水元 | 二酸化窒素 NO ₂ | ○ |
| | 浮遊粒子状物質 SPM | ○ |
| | 光化学オキシダント Ox | × |
| | 二酸化硫黄 SO ₂ | ○ |
| | 一酸化炭素 CO | ○ |
| つつみ | 二酸化窒素 NO ₂ | ○ |
| | 浮遊粒子状物質 SPM | ○ |
| 新宿 | 二酸化窒素 NO ₂ | ○ |
| | 浮遊粒子状物質 SPM | ○ |
| 堀切 | 二酸化窒素 NO ₂ | ○ |
| | 浮遊粒子状物質 SPM | ○ |

◆ 騒音、振動、悪臭などの防止の推進

(1) 工場等苦情処理

工場や指定作業場などから発生する騒音・悪臭・振動についての苦情・相談に迅速に対応し、生活環境の保全に努めています。また、近隣同士で発生する生活音などの個人の感覚的な苦情については、日頃からコミュニケーションを心がけ、お互いに配慮することの重要性を広報紙や区ホームページで周知するとともに、リーフレットを作成し、配布するなど、啓発に努めています。

施策の目標

基本施策12 きれいな水と空気に囲まれた生活環境づくり

| 指標 | 目標設定時の値 | 現状値 | 目標値 |
|--|-----------------|-----------------|----------------|
| 大気(NO ₂ ・SPM)の環境基準値達成状況(測定4局) ^{※1} | 達成 (令和2年度) | 達成 (令和3年度) | 維持 (令和13年度) |
| 大気(O _x)の環境基準値達成状況 (測定1局:水元) ^{※2} | 未達成 (令和2年度) | 達成 (令和3年度) | 達成 (令和13年度) |
| 河川水質(BOD)の環境基準達成率(%) ^{※3} | 100% (令和2年度) | 100% (令和3年度) | 維持 (令和13年度) |

※1 NO₂(二酸化窒素)、SPM(浮遊粒子状物質)

※2 O_x(光化学オキシダント)

※3 3河川(江戸川・新中川・綾瀬川)の調査地点4か所における環境基準値適合検体数 / 総測定検体数(%)

基本施策13 快適できれいなまちづくり

| 指標 | 目標設定時の値 | 現状値 | 目標値 |
|---|------------------|------------------|------------------|
| 生活環境に関する苦情件数 (件) ^{※4} | 483件 (令和2年度) | 381件 (令和3年度) | 173件 (令和13年度) |
| 区内がごみのない、きれいで清潔なまちになっていると思う区民の割合(%) ^{※5} | 47.3% (令和2年度) | 50.4% (令和3年度) | 60% (令和12年度) |

※4 目標値は2019(令和元)年度の苦情件数(259件)を基準として設定

※5 「葛飾区政策・施策マーケティング調査」調査報告書

【評価(課題及び今後の方向性)】

- 水質については、全ての河川で環境基準を達成しており、大気についても光化学オキシデントを除き、環境基準を達成しています。引き続き適切な管理を行っていくとともに、光化学オキシデントについては、ホームページやリーフレットなどにより普及・啓発を継続していきます。
- 生活環境に関する苦情については、引き続きお互いに配慮することの重要性を啓発していくほか、区民の生活習慣の変化に柔軟に対応していきます。